北陸地方整備局湯沢砂防事務所	記者発表	平成１７年５月２０日

件　名	**長岡市（旧山古志村） 楢木地区の河道掘削作業の終了について**

発表概要	**長岡市（旧山古志村）楢木地区周辺の水位低下を図るため河道掘削を実施しました。** 中越地震により芋川流域では、多数の山腹崩壊や河道閉塞等が発生しており、現在も大量の不安定土砂が流域内に堆積しています。 国土交通省湯沢砂防事務所では、昨年楢木地区において地震時に発生した河道閉塞箇所について開削を行いました。しかし、楢木地区周辺の芋川は、川の流れが緩やかであるため土砂が堆積しやすく、この融雪に伴い上流から流出した土砂が河道一杯に堆積し、楢木橋の桁下まで土砂が埋まり、この土砂堆積により川の水が橋梁を越えていました。そのため、長岡市より楢木地区の河道掘削については協力要請があったところです。 湯沢砂防事務所では、楢木地区周辺で砂防工事を予定しており、今後の工事実施に必要な調査を行うため、河道掘削工事に着手しました。 ５月１６日までに、楢木橋上下流約４００mにわたり河川水位上昇の原因となっていた土砂の掘削を行いました。 なお、５月２０日現在、河道掘削により楢木橋は渡れる様になり、一定の水位が低下しました。

問い合わせ先	北陸地方整備局　湯沢砂防事務所	TEL（代表）025-784-2263 副所長（技）　本臼　茂　（内線 204） 流域対策課長　山本　悟　（内線 361）

※今回の掘削場所の写真等について、湯沢砂防事務所ＨＰにて情報提供する予定です。
http://www.hrr.mlit.go.jp/yuzawa/index.html

別　紙

＜対応経緯＞

４月２２日　長岡市から湯沢砂防事務所に対し、楢木集落周辺の掘削の協力要請。
４月２５日　長岡市・楢木集落と現地合同調査を実施し、積雪状況を踏まえた資機材の手配等を開始。
４月２７日　積雪があるため、バックホウ２台で通路を確保しながら現地立入り開始。
　　同日中に楢木集落近辺まで搬入。
４月２８日　南平橋近隣から河道掘削を開始。
４月３０日　南平橋から約１００m上流まで河道掘削を完了。
５月　２日　長岡市・楢木集落と現地合同調査を再実施。河床低下効果を確認。
５月　９日　融雪並びに現地の安全を確認しつつ、河道掘削を再開。
５月１６日まで
　　【河道掘削実施状況】
　　延長　　約４００m（南平橋～楢木橋上流まで）
　　幅　　約４～５m
　　深さ　　約２m

５月２０日　現地の水位低下状況を確認し、当面の作業を終了。